



区内で発生した犯罪情報、子どもの安全をおびやかす不審者目撃情報、大規模な災害などの情報、犯罪の被害に遭わないための防犯情報などを、あらかじめご登録していただいた皆さんのパソコンや携帯電話へ、メール配信しています。

ご利用条件・注意事項を区ホームページでご確認ください。

配信される情報

①犯罪情報

区内で発生した犯罪など緊急にお伝えする必要がある情報、週間犯罪情報、安全・安心に関するお知らせ。

②子ども安全情報

子どもを狙う不審者・変質者目撃情報などの情報。

③災害等情報

大規模災害発生時などに、緊急にお伝えする必要がある情報、区内の安全・安心に関する情報。



登録方法

- ①パソコン、携帯電話から、メールマガジン登録用受付アドレス「katsushika@katsushika-mail.jp」へ空メール（タイトル、本文を何も入力しない）を送信してください。※上記の登録用QRコードからもご登録いただけます。
- ②「葛飾区メール配信サービス仮登録完了のお知らせ」のメールが届きます。メールに記載されているURLアドレスをクリックしてください。
- ③メールアドレスと希望情報の入力画面が表示されます。配信を希望される情報にチェックを入れます。葛飾区安全・安心情報メールには、「犯罪情報」「子ども安全情報」「災害時情報」の3種類のメールをご用意しています。複数選択いただくことも可能です。
- ④チェックを入れたら「新規登録」のボタンをクリックします。登録した情報の内容が表示されますので、「上記内容で登録」ボタンをクリックします。
- ⑤「葛飾区メール配信サービス本登録完了のお知らせ」という件名のメールが届きます。これで本登録が完了します。

9. 子どもの事故を防ぐために

起こりやすい事故

子どもの死亡の原因で最も多いのは、不慮の事故です。

子どもの事故は、月齢や年齢によって起きやすい条件や場所がわかっています(下表参照)。

子どもの事故防止のポイントを知って、家族全員で事故防止に努めましょう。

葛飾区では、事故予防についてもっと知っていただくために、各保健センターで実施する乳幼児健診の際に、パンフレット等を活用して注意点や予防策についてお伝えしています。

月・年齢	起こりやすい事故	事故の主な原因と対策
新生児	周囲の不注意によるもの 窒息	☆誤って上から物を落とす ☆上の子が抱き上げてけがさせたり、物を食べさせたりする ☆まくらや柔らかい布団に顔が埋もれる(硬めの布団等を使い、仰向けに寝かせる)
1～6か月	転落 やけど	☆ベッドやソファ、抱っこひも、ベビーカーなどから落ちる(大人用ではなく、出来るだけベビベッドで寝かせ、ベッドから離れるときは柵を上げる) ☆大人が子どもを抱いたまま熱い飲料をこぼす
7～12か月	転落・転倒・はさむ やけど 溺水 誤飲・中毒 窒息 車中のけが	☆扉、階段、ベッド、ベビーカー、椅子 ☆アイロン、魔法瓶や電気ケトルのお湯、炊飯器やスチーム加湿器の蒸気 ☆浴槽、洗濯機に落ちる(残し湯をしない) ☆たばこ、医薬品、化粧品、洗剤、コイン、ボタン電池、磁石など ☆お菓子、豆、ナッツ類、ブドウ、ミニトマトなどの食品がのどにつまる ☆座席から転落(チャイルドシートで防止できる)
1～4歳	誤飲(中毒) 窒息 転落・転倒 やけど 溺水 交通事故	☆範囲が広がり、あらゆるものが原因になる ☆お菓子、豆、ナッツ類、ブドウ、ミニトマトなどの食品がのどにつまる ☆階段、窓、ベランダ(踏台になるものを置かない) ☆歯ブラシでの喉突き事故 ☆熱い鍋に触れる、テーブルクロスを引いて湯をこぼす(テーブルクロスは使用しない)、ライター、マッチなどによる火遊び(子どもの手の届くところにライターなどを置かない) ☆入浴時、浴槽に落ちる、水あそび ☆飛び出し事故(手をつないで歩く)

※参考「子どもを事故から守る!! 事故防止ハンドブック」

(関連情報) 消費者庁ウェブサイト「子どもを事故から守る! 事故防止ポータル」

(https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer_safety/child/)

子どもの事故予防に関する豆知識や注意点などを、X(エックス)やメール配信しています。

- ・「消費者庁 子どもを事故から守る!」
- ・子ども安全メール from 消費者庁 X(エックス) (@caa_kodomo)



子どもの事故防止
ハンドブックページ



X(エックス)ページ



子ども安全メール登録

1 妊娠・出産
2 ママへ
3 たばこ・お酒
4 低出生体重
5 赤ちゃん
6 パパ・成長
7
8 防災
9 事故・予防
10 おでかけ
11 相談・預かり
12 保育園等
13 急病
14 保健所等
15 区見相
16 相談窓口
17 区LINE

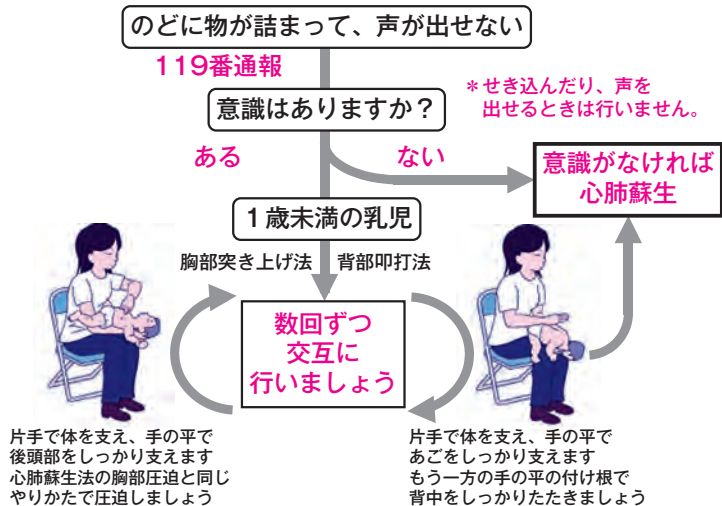
ものがのどにつまった時の応急処置

乳幼児は、大人が思いもよらないものを口にします。食べ物や玩具等がのどにつまると、窒息する危険があります。

周囲の大人が、普段から乳幼児ののどに詰まりやすい大きさの目安（3歳児の最大口径39mm、口から喉の奥までの長さ51mm。39mmとは、トイレットペーパーの芯程度）を知り、窒息につながりやすい食べ物の注意点や玩具の取り扱いに関する注意書きをよく確認するとともに、すぐに対処できるように、応急手当について知っておくことが必要です。

※口の中に指を入れて取り出そうとすると、異物がさらに奥へ進んでしまうことがあります。

【ものがのどにつまった時の応急処置】



1歳以上の幼児

胸部突き上げ法（ハイムリック法）

背後から両腕を回し、子どものみぞおちの下で片方の手を握り拳にします。その手で腹部を上方へ圧迫しましょう。



異物が取れるか、救急隊と交替するまで続けましょう

（監修）日本小児呼吸器学会、日本小児救急医学会

電話相談『中毒 110 番』（公財）日本中毒情報センター）

●大 阪：072-727-2499（365 日 24 時間対応）

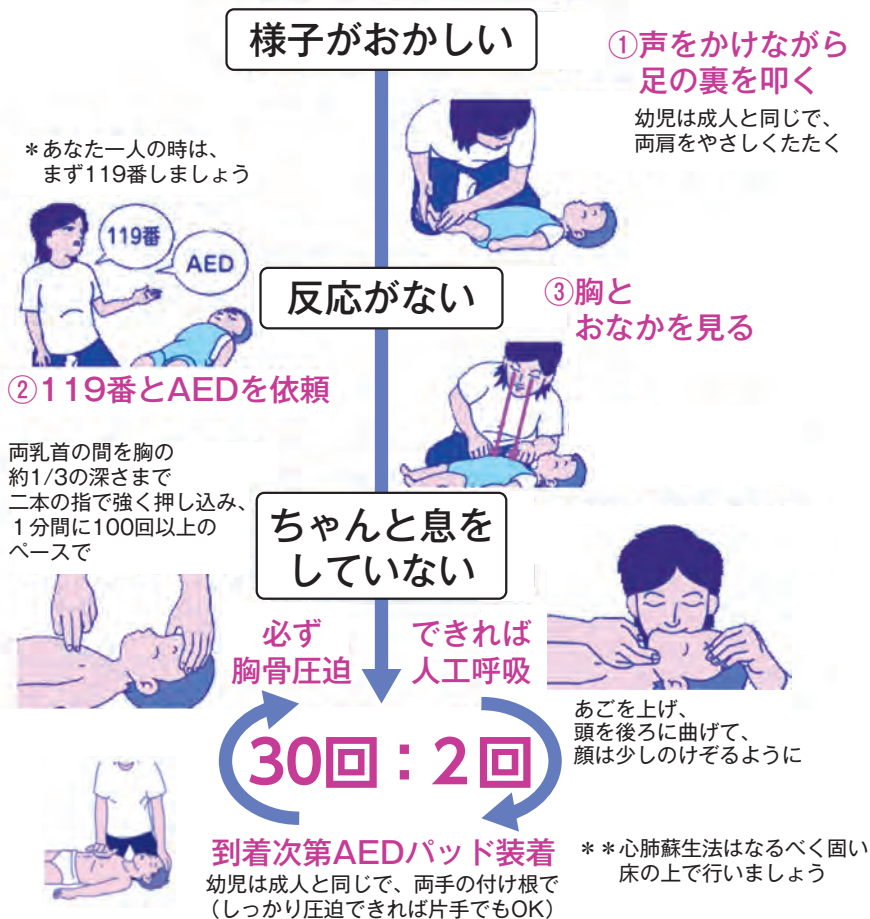
●つくば：029-852-9999（365 日 24 時間対応）

●たばこ専用電話：072-726-9922（365 日 24 時間対応・自動音声応答による情報提供）

心肺蘇生法

心肺蘇生法の基本は、胸骨圧迫と人工呼吸です。胸骨圧迫だけでも、人工呼吸だけでも、何かをするその勇気がお子さんの救命につながります。

様子がおかしいと思ったら助けを呼んで、以下の心肺蘇生法の手順を開始しましょう。



泣き出すか、救急隊と交替するまで続けましょう

(監修) 日本小児呼吸器学会、日本小児救急医学会

※消防機関等で応急処置の講習会が行われています。慣れておくと安心なので、参加してみましょう。